

令和5年シラス曳網調査結果 (第2報)

令和5年6月1日
福島県水産海洋研究センター

1 調査日

5月29日

2 調査海域

相馬海域

37-48N 線上 141-00E(水深 10m)、141-05E(水深 29m)
141-10E(水深 38m)、141-15E(水深 54m)

3 調査手法

中層トロール網(魚捕部の目合い 1mm)

水深 10m 付近(一番灘の定点は表層)を 10 分間曳網 (2kt)

4 調査結果

(1)表面水温(図 1)

17.4°C~18.0°C

(2)シラス採捕数(図 1)

1 定点あたり 0~223 尾 (合計 345 尾)

今回のシラス採捕数は前回調査時(5月19日、17~884尾、合計 1,565尾)と比較し、減少しました。

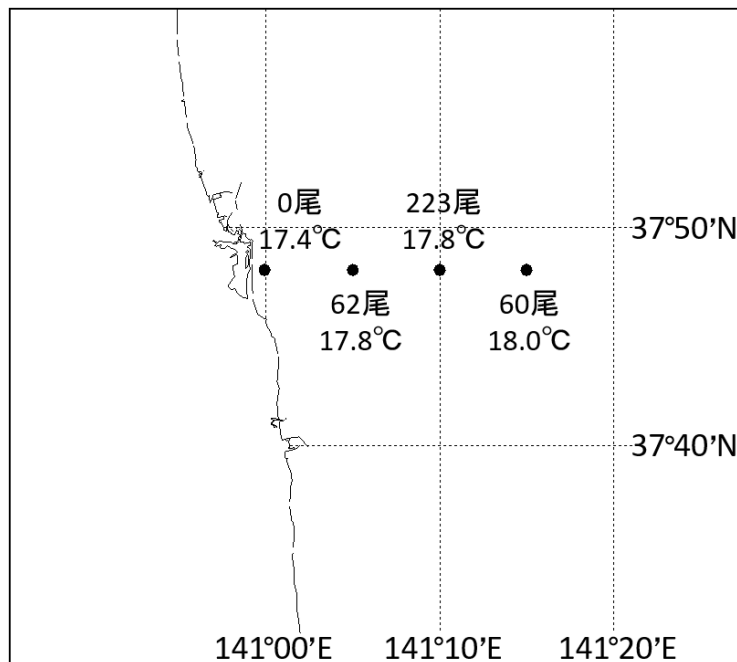


図1 カタクチイワシシラス採捕数

(3)シラス全長(図2)

全長範囲：2.4～30.4mm(モード：2～4mm)

前回調査時(5月19日、全長範囲：3.1～33.8mm、モード：10～12mm)よりも全シラス採捕数に占める小型シラス採捕数の割合が増加しました。

なお、141-05Eでは全長5mm前後と全長15mm前後の2群が確認され、141-10Eでは全長3mm前後、141-15Eでは全長5mm前後にモードが確認されました。

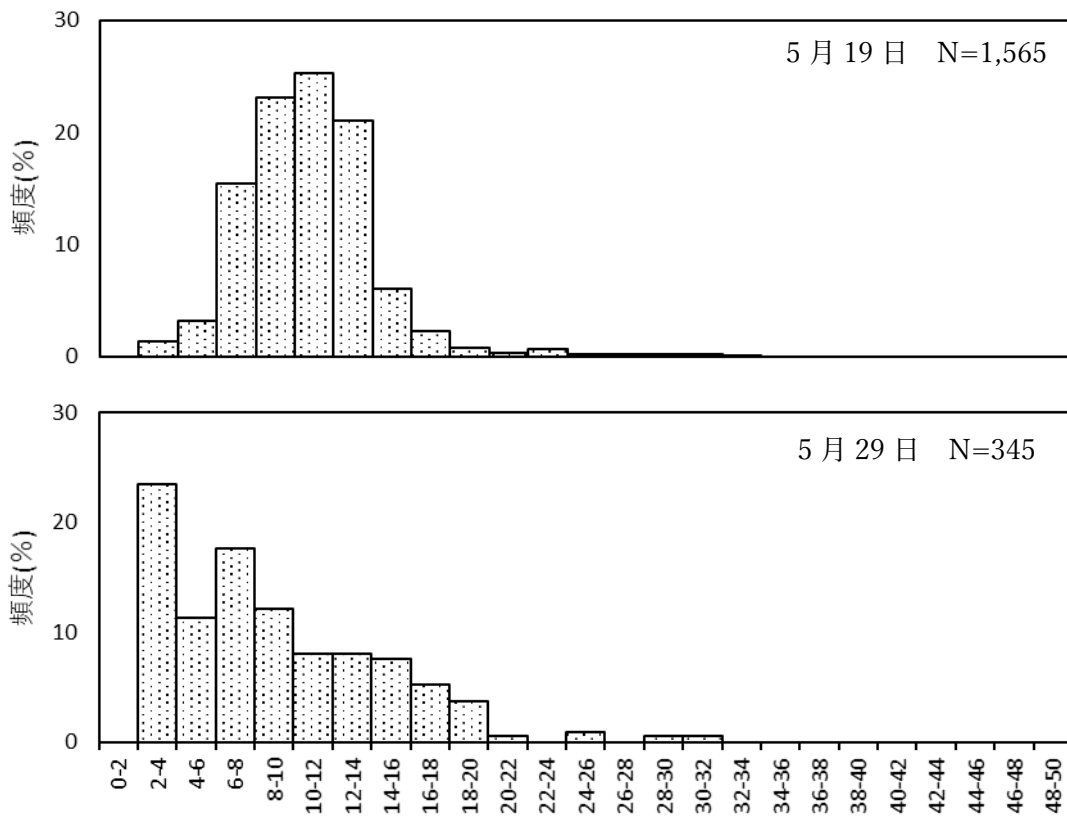


図2 カタクチイワシシラスの全長組成

(4)過去の調査結果との比較(図3)

令和5年5月のシラス採捕数は平成18年以降で最多となりました(図3(a))。なお、福島県の年別シラス漁獲量を(図3(b))に示します。今後、本調査でのシラス採捕数、シラス漁獲量の動向を注視し、両者の関係について解析を行ってまいります。

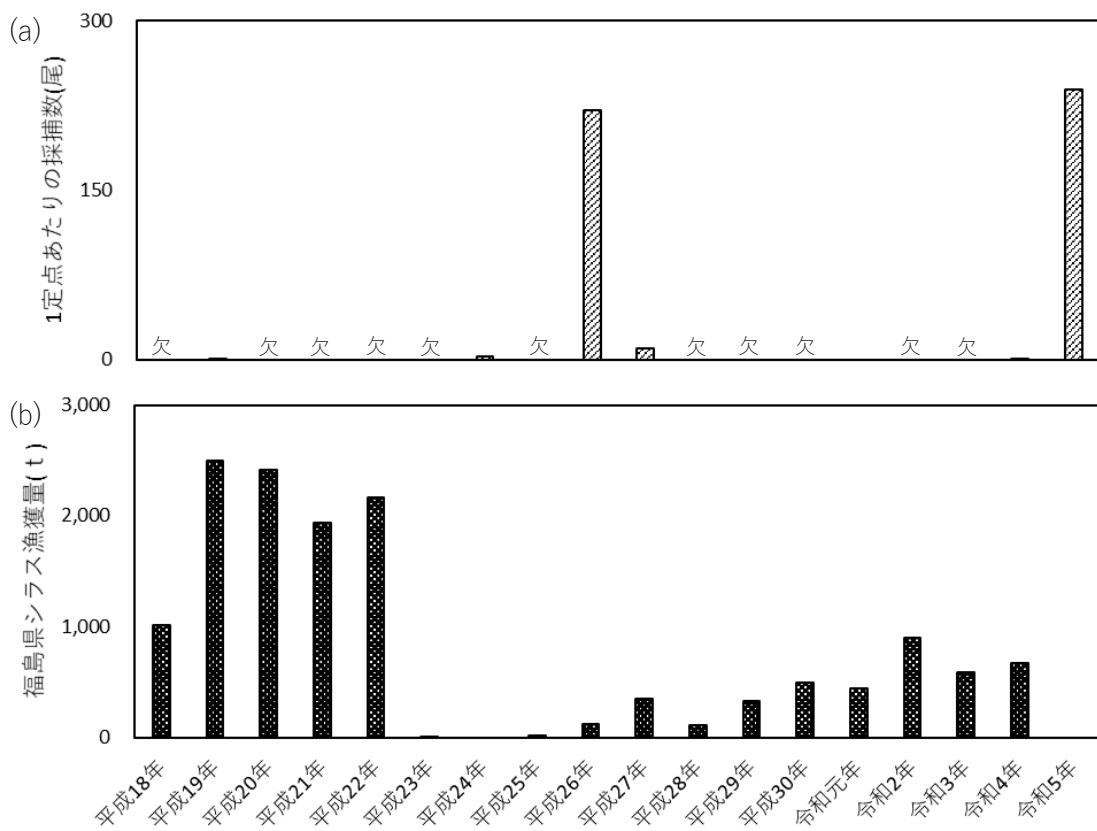


図3 (a)相馬海域における5月の1定点あたりの採捕数
(b)福島県の年別シラス漁獲量